

[事典・用語集・地図帳](#)

[業界地図・ランキング](#)

[トレンド予想・経済統計](#)

[ビジネス読物・雑学](#)

[ブログ・インターネット](#)

毎日更新! 売筋ビジネス書

この部分は iframe 対応のブラウザで見てください。

コルナイ・ヤーノシュ自伝 思索する力を得て



コルナイ ヤーノシュ Kornai János 盛田 常夫

日本評論社 2006-06
売り上げランキング : 35404

[Amazonで詳しく見る](#) by G-Tools

ハンガリーの経済学者の自伝である。著者はユダヤ系ハンガリー人として1928年に生まれ、戦後一時期ハンガリー共産党機関紙の記者を務め、59年ころから共産党とマルクス経済学に決別して、84年から2002年までハーバード大学教授を務めた。

こう語っていくと、なんだかなじみのない本に思えるが、読んでみると面白い。

まず、ハンガリー社会主義的知識人の内面とその転向過程がよく読み取れること。次に東欧の社会主義経済が、東欧圏の中では自由化もある程度進んで、「優等生」とまで呼ばれたハンガリー経済をもってしても、うまく機能しなかった理由が、理論と現実を踏まえた回想で明らかにされているからだ。

著者はマルクス経済学への「恋」に冷めたあと、一時は新古典派経済学に「恋」するが、新古典派も「諸定理が現実と一致しない」ことに気がつき、愕然とする。こうした経済理論への著者の考えも興味深い。

2006/09/02, 週刊東洋経済

神主さんがなぜプロサッカーチームの経営をするのか